

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ホープフルSはコントレイルが優勝

12月28日(土)に行われたホープフルS(GI)ではコントレイル(牡2歳/栗東・矢作芳人厩舎)が勝利、GI初制覇を果たしました。鞍上の福永祐一騎手(栗東・フリー)は阪神ジュベナイルフィリーズ(2011年ほか)、朝日杯フューチュリティS(2005年ほか)も勝利しており、JRA 2歳GI完全制覇を達成したことになります。

●ヤングジョッキーズシリーズは岩手の岩本怜騎手が優勝

中央・地方の若手騎手が腕を競ったヤングジョッキーズシリーズのファイナルラウンドが、12月27日(金)の大井競馬場(2戦)と翌28日(土)の中山競馬場(2戦)にて実施され、4レースで計62ポイントを獲得した岩本怜騎手(岩手)がチャンピオンに輝きました。JRA所属のジョッキーでは、坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)の第4位(46ポイント)が最高位でした。

●岩本怜騎手と中越琉世騎手がJRA初勝利をあげる

12月28日(土)の5回中山9日・第7レースではクリノオスマンが1着となり、同馬に騎乗した岩本怜騎手(岩手・三野宮通厩舎)は、JRA初騎乗で初勝利をあげました。また第9レースではリョウランヒーローが1着となり、同馬に騎乗した中越琉世騎手(川崎・佐藤博紀厩舎)もJRA初勝利(4戦目)をあげました。

●江田照男騎手がJRA通算900勝を達成

12月28日(土)の5回中山9日・第10レースとして行われた立志Sではモルフェオルフェが1着となり、同馬に騎乗した江田照男騎手(美浦・フリー)は、史上45人目、現役では23人目となるJRA通算900勝(1万6502戦目)を達成しました。

●ルメール騎手と安田調教師がJRAリーディングに輝く

2019年度のJRAリーディングジョッキーは164勝をあげたクリストフルメール騎手(栗東・フリー)が獲得、3年連続3度目の受賞となりました。ルメール騎手は最多賞金獲得騎手のタイトルも獲得し、最高勝率騎手は川田将雅騎手(栗東・フリー)。またトレーナーでは62勝をあげた安田隆行調教師(栗東)が自身初となる全国リーディングに輝いています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●オメガパフュームが東京大賞典(大井)で連覇達成

東京大賞典(GI、12月29日、大井、2000^米)は、6~7番手から差を詰めた2番人気の前年の覇者オメガパフューム(ミルコ・デムーロ騎手、牡4歳、父スウェプトオーバーボード)が、内で食い下がるノンコノユメ(大井)に1馬身差を付け、3度目のGI・JpnI制覇。1番人気に推されたゴールドドリームは直線一旦先頭も踏ん張れず4着、ロードゴラツは5着、サノサマーは6着、3番人気のケイティブレイブは8着、逃げたアポロテネシーは9着、ロンドンタウンは最下位の13着でした。

●兵庫ゴールドT(園田)で3歳馬デュープロセスが重賞初制覇

兵庫ゴールドトロフィー(JpnIII、12月27日、園田、1400^米)は、逃げたデュープロセス(北村友一騎手、牡3歳、父ダイワメジャー)がイルティモネ(兵庫)の追撃を $\frac{3}{4}$ 馬身差振り切り、1番人気に応じて初の重賞制覇を果たしました。2番人気のノボバカラは4着、3番人気のテオーエナジーは9着、ランスオブブラーナは10着に終わっています。

●2019年地方競馬リーディングは打越勇児調教師、森泰斗騎手

2019年の地方競馬リーディングは、トレーナーが202勝で打越勇児調教師(高知)、ジョッキーは360勝の森泰斗騎手(船橋)でした。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1マリブS~オマハビーチが楽勝でG1・3勝目

12月28日に米国カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われたG1マリブS(3歳、ダート1400^米)は、単勝1.4倍の圧倒的な1番人気に推されたオマハビーチ(牡3歳、父ウオーフフロント、R.マンデラ厩舎)が最後まで鞭を使われることもなく、G1サンタアニタダービーの勝ち馬ロードスターに2馬身 $\frac{3}{4}$ 差をつけて優勝しました。オマハビーチは、G1ブリーダーズCジュベナイルフィリーズを制して米最優秀2歳牝馬に選ばれたテイクチャージブランドの半弟。昨年3月のG2レベルSディヴィジョン2(ダート1700^米)と4月のG1アーカンソーダービー(ダート1800^米)を連勝しましたが、G1ケンタッキーダービーは呼吸器系の疾患によって無念の出走取消。その後、復帰戦となった10月のG1サンタアニタスプリントチャンピオンシップS(ダート1200^米)で勝利を収めると、前走11月のG1ブリーダーズCダートマイルは2着でした。今後は1月25日のG1ペガサスワールドC(ダート1800^米)を最後に現役を退き、米国ケンタッキー州のスペンドスリフトファームで種牡馬入りする予定です。なお、鞍上のマイク・スミス騎手(53歳)はこれが北米における217回目のG1制覇となり、ジェリー・ベイリー元騎手の記録を更新しました。